

個人山行

東北：蔵王 岩木山 八甲田山 八幡平

◆日程 2018年6月23日(土)～26日(火)

◆メンバー L 渡辺 豊

岩木山 1625m。津軽三味線が響く山。弘前から見た岩木山が好きだ。3つの頂と流れるすそ野のバランスが絶妙だ。作品にしたい山の一つだ。

今回の山行の目的は

- ① 岩木山の形を把握し、簡単なスケッチをする。
- ② 熊野岳は冬山登山の下見を兼ねる。
- ③ 津軽三味線とこぎんさしを鑑賞する。
- ④ 八甲田山と八幡平の自然観察。

6月23日(土) 天候：薄曇 蔵王連峰 地蔵山 1736m

山形側の熊野岳 1840mや地蔵山には高中木がない。さえぎるものが何にもない。せせこましさがなく、何にもないけれど、圧倒的な静けさとゆったりした空間があった。月山 朝日連峰 飯豊連峰が指呼の距離に白くあった。

花はハクサンチドリ(白山千鳥) ツマトリソウ(端取草)

CT：蔵王ロープウェイ山頂駅 10:40 - 地蔵山 11:00 (往復)

猫のこけし 6月初旬横浜高島屋で山形市物産展があった。新聞折込広告の猫のこけしが良かったので、見に行った。売り切れだった。そこで今回山形市の工房に立ち寄った。工人は梅木直美さん(美人)。猫のこけしは絶品だった。面相筆は奈良の一心堂。私も2本持っている。その後7月初旬にとげぬき地蔵尊で実演販売があったので、友達と行って来た。

板そば 山形駅前 そば処「みちのく」。酒は男山の熱燗。タクシー運転手があれこれ迷ってこの店に決めてくれた。地元の人が通う店。老夫婦がほのぼのと静かに蕎麦をすすっていた。隠れた名店だった。

日和山 3m 国土地理院発行の地図で標高が3mと標記されている。仙台にある。かつては6mあったが、大津波で削られた。重い歴史を背負った日本一低い山だ。

6月24日(日) 天候：曇 津軽 岩木山 1625m

岩木山は美しい山だ。弘前からがいい。稜線が山の字に見える。エスキースを描いてみた。リフトを降りると雨具でも振るえるぐらい寒かった。花はハクサンチドリとツマトリソウ。蔵王と同じ花が咲いていた。

CT：登山リフト鳥ノ海噴火口駅 13:10

津軽三味線 弘前パークホテルで生演奏を聴いた。奏者は渋谷幸平さん。数年前全日本コンクールで一位になったそう。強烈に音が響く。三味線の音に岩木山が共鳴している。太宰治の「津軽」が思い浮かぶ。「津軽」の文章は津軽三味線のように次から次へと湧いてくる。津軽の文化は次から次へと湧いてくる文化だ。こぎんさしも次から次へと針を刺す。太宰治は紛れもない天才だが、天才を生む土壌と文化が津軽にはあった。今もある。次々と湧き続けている。弘前の紀伊国屋書店に行けばわかる。郷土文化の書籍が一千冊以上は並んでいる。35年以上続いている書店だ。

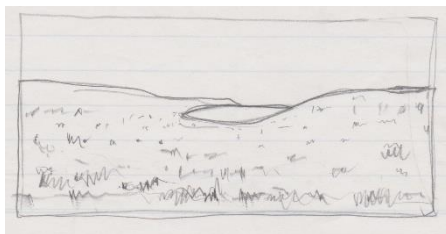
6月25日(月) 天候：曇 八甲田山 田茂菴岳 1324m

八甲田山はアオモリトドマツの山だ。お隣の八幡平ではオオシラビソと呼ぶ。アオモリトドマツとオオシラビソは同じ樹木だが、青森の人はアオモリトドマツと呼び、岩手の人はオオシラビソと呼ぶ。花はハクサンチドリ ツマトリソウ ゴゼンタチバナ (御前橋) チングルマ (稚児車) マイズルソウ (舞鶴草) イワカガミ (岩鏡) ミツバオウレン (三葉黄蓮) アオモリトドマツ (青森榎松) の紫の実 ハイマツ (這松) の青い実。

CT：青森駅 8:15 - 田茂菴岳 10:30 - 青森駅 13:30

6月26日(火) 天候：曇 八幡平 1613m

八幡平は別世界の湿原だ。ゴルフ場のグリーンのように美しい。森吉山、焼山、^{もっこ}畚岳、岩手山が八幡平を取り囲む。雪渓がそこここに残っていた。



CT：盛岡駅 9:10 - 八幡平頂上 12:10 - 八幡平頂上バス停 15:10

岩手山 25日は盛岡にホテル泊。ホテル前の焼鳥屋に。ほんの5分の橋の上が岩手山の好展望と教えてくれた。驚いた。シルエットの岩手山が大きく天までとどく勢いで迫ってきた。岩手山は大迫力の山だった。石川啄木も宮沢賢治もこの地で育った。英国の作家ジョージ・オーウェルは「風景が人間を育てる。」と言った。確かに岩手山の風景がこの大天才を育てた。弘前では岩木山が饒舌の天才太宰治を育てた。

立ち食いそば 盛岡駅ビルの立ち食いそば屋は、蕎麦メニューのみ。うどんはない。店の名は「蕎麦にはち」。立ち食いそばの名店は盛岡にあった。

畚岳 1578m ^{もっこ}畚を「もっこ」と読める人は少ない。バスで隣席になった女性が「もっこ」とは背にする竹籠のことだという。合点がいった。その後三人組の女性も加わって五人で八幡平頂上から八幡沼をゆっくり回った。隣席の女性が盛岡駅北改札口に立飲み屋があってホヤを出すという。飲もうと全員一致。新幹線発車までの15分でガブッと飲んだ。青春の味がした。

後藤さん 今回の山行の一番の目的は、後藤さんと飲むことだった。盛岡に着いて電話すると奥さまが出て、山形に出張中だという。残念無念。盛岡の地酒で和賀・真昼・焼石の話をしたかった。

6/23～6/26 東北めぐりのハイキング、羨ましい旅ですね。蔵王-岩木山は移動距離も長く、その交通手段に興味を持ち渡辺豊さんに確認しました。(小林)

23日 蔵王下山後 山形→仙台→塩竈 泊 (寿司を食べるため)

24日 塩竈→仙台 (一番の新幹線) →新青森→弘前→岩木山

朝一番の新幹線で移動しました。新幹線は短時間で新青森に着きます。

蔵王 岩木山 八甲田 八幡平ともハイキングバスが出ているので便利です。

新幹線とハイキングバスを組み合わせると効率よく山登りができます。